



# 2022年度 製品安全基本教育講座

## — 製品安全の基本を学ぶ —

### 製品安全に関する最先端の規格動向が身につきます

#### 講座概要

消費者に電気製品を安心して使用していただくためには、製品が安全であることが前提です。本講座は製品安全の基本から個別の製品についてのIEC安全規格の具体的な要求事項に加えて、IEC62368-1や電気用品安全法の技術基準の性能規定化等の最新情報を盛り込んでいます。全講義を通して受講することにより、製品安全の基本事項を幅広く修得してもらうことを目的としています。また、受講者の担当する製品や知識レベルに応じて、必要な講座だけを選択受講することも可能です。

講座コーディネーター:柴田 恵 氏 (IEC/TC108 MT2/HBSDTエキスパート)

#### 募集要項

##### 開催期間・時間

2022年8月31日(水)～2023年2月1日(水) 全6回  
時間13:00～17:00

##### 受講対象

品質部門、製品安全、規格認証に関わる方

##### 講師陣

業界の最先端で活躍されているエキスパート

##### 定員

先着50名 申込締切:各講義、開講日の1か月前  
(ただし、定員になり次第募集を締め切ります)

##### 受講料(税込み)

KEC会員 : 7,000円  
非会員 : 10,000円

1講義(1日)当たりの受講料です。  
オンライン開催のため、受講料は割引価格を適用しています。

##### 申込・受講方法

KECウェブサイトの申込みフォームからお申込みください。各講義、申込締切は開講日の1か月前です。請求書をご送付いたします。期日までに請求書記載の指定銀行口座に受講料をお振込みください。受講証の発行はしていません。後日、ご登録住所にテキストを送付いたします。開講日の前日までに、聴講用URLが記載された案内メールを送信いたします。

##### 申込先

<https://www.kec.jp/seminar/anzen22/>

##### 第2講の申込みについて

第2講ではリスクアセスメント実習を実施いたします。講座カリキュラムの受講条件をご理解のうえ、お申込みください。

##### 会場

Zoomによるオンライン(全国どこからでも参加可能)

##### 開催にあたっての注意事項

※新型コロナウイルス感染拡大の影響、及び感染防止の観点から、やむを得ず講演内容や配信方法を変更、あるいは、急きょ配信を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

※セミナー・講座の記録行為(録音・録画・スクリーンショット・撮影)、講演内容の転用、聴講用URLの無断共有、チャットでの誹謗中傷、参加者の情報共有は固く禁止いたします。誓約いただける方のみご参加いただけます。

※コンサルタント、同業のお客様のお申込みはお断りする場合がございます。

※参加申込済みのお客様以外のご参加はお断りいたします。

※聴講には、パソコン等の情報端末とインターネット環境が必要です。インターネットの回線速度、及び、パソコンの動作検証についてはお客様にてお願いいたします。

お申込み前に、当日使用する端末と場所で  
<https://zoom.us/test> にアクセスし動作確認テストを行ってください。

回線やパソコンの不具合により、万一聴講ができない場合、後日の再開催やオンデマンド配信等の対応はしていません。

※Zoomアプリでの聴講を推奨いたします。Zoomアプリは最新版をお使いください。Zoomアプリが利用できない場合は、ウェブブラウザからでも聴講が可能です。ただし、複数端末での聴講は認めておりません。

※お客様のご都合によるキャンセルは原則としてお受けしておりません。

※入金日(振込連絡日)や交通事情により、テキストの到着が遅延する場合がございます。あらかじめご了承ください。テキストの電子データの送信はございません。

#### 問い合わせ先

一般社団法人KEC関西電子工業振興センター  
専門委員会推進部 事務局 藤田 泰男

〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台 3 丁目 2 番地 2  
TEL 0774-29-9041/FAX 0774-93-4564  
E-mail [publication01@cec.jp](mailto:publication01@cec.jp)

# 講座の特徴

- 対象者 : 製品安全に携わる関係者全般、技術者、設計者、品質担当者など幅広く募集  
 講師陣 : 業界最先端でご活躍の講師陣(IEC/TC108 MT2/HBSDTエキスパート柴田恵氏 企画)  
 分り易さ : 製品安全の基本、規格をわかりやすく解説、Q&Aも設定  
 幅の広さ : 年間受講により製品安全に関係する最先端の規格動向の把握が可能  
 理解促進 : リスクアセスメント実習実施  
 先進性 : IEC 60950-1においてはIEC 62368-1への変化点についても解説  
 また、それらに続くIEC 62368-1を受講することで理解をさらに深めることが可能

## 講座カリキュラム・日程

開催日時	講義項目	講師
1 2022年 8月31日[水]	<b>製品安全の基本的な考え方と世界の製品安全法規・認証制度</b> 1) 製品安全の基本的な考え方 1-1 安全とは 1-2 安全の基準 1-3 企業での製品安全管理 2) 世界の主要製品安全法規・規制・認証制度 2-1 欧州(EU(LVD)、英国、ロシア) 2-2 北米(アメリカ(CPSA、UL)、カナダ) 2-3 アジア大洋州(中国、インド等) 2-4 その他の国 3) 世界のサイバーセキュリティ最新規制・規格動向	川口 昇 氏 株式会社UL Japan
2 9月29日[木]	<b>事件事例とリスクアセスメント</b> 1) リスクアセスメントとは 2) リスクアセスメント手法 3) 事件事例とリスクアセスメント 4) リスク低減の方法と事例 5) 事故データベースの活用 6) リスクアセスメント実習 ※ 事前に特定製品のリスクアセスメントに関する課題をご提出いただき、実習にて受講後のリスク評価の差を実感していただきます。 実習では、マイク・カメラ・受講者の資料共有・チャット等、Zoom機能を利用し、講師との意見交換や発表を予定しております。受講にはマイク・Webカメラ(パソコンに内蔵されているマイク・Webカメラでも可)が必要です。これら機能が使用できない場合は、第2講の受講をご遠慮ください。	酒井 健一 氏 NITE 独立行政法人 製品評価技術基盤機構
3 10月27日[木]	<b>電気用品安全法の技術基準(省令)及びIEC規格の基礎</b> 1) 技術基準の性能規定化と体系 2) 電気用品安全法の技術基準省令と解釈の関係 3) IECの組織と規格作成プロセス 4) 製品安全規格に共通する要求 4-1 用語の定義(絶縁構造、沿面距離、空間距離等) 4-2 ハザード別の要求(感電、火災、傷害等) 4-3 表示要求 4-4 部品に対する要求	住谷 淳吉 氏 JET 一般財団法人 電気安全環境研究所
IEC62368-1関連(関連が深いため、第4講・第5講を合わせて受講されることをおすすめします)		
4 11月25日[金]	<b>機器別IEC規格要求: IT機器</b> IEC60950-1(Ed.2.2)の要求とIEC62368-1移行時の注意点 1項(総則)～7項(ケーブル分配システムとの接続)の要求を概説 IEC 62368-1へ移行した場合に対応が必要なポイントについても説明	柴田 恵 氏 IEC/TC108 MT2/HBSDTエキスパート
5 12月16日[金]	<b>IEC62368-1の要求(機種別IEC規格要求: AV・IT・CT機器)</b> 1) HBSE (Hazard Base Safety Engineering)の基本概念 2) ハザード別の要求(感電、火災、機械的要因による傷害、熱傷等)	近藤 孝彦 氏 JET 一般財団法人 電気安全環境研究所
6 2023年 2月1日[水]	<b>機器別IEC規格要求: 電化機器</b> 1) IEC60335-1(Ed.5.2)の要求 1項(適用範囲)～32項(放射、毒等の危険)の要求を概説 2) IEC60335 Part2(個別機器規格の要求) Part2の要求をスポット的に紹介 IEC規格改訂の取組み内容紹介	氏田 良太 氏 パナソニック オペレーショナル エクセレンス株式会社

※プログラムは、事情により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

申込みはこちら

<https://www.kec.jp/seminar/anzen22/>